

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 概ね2カ月に1回、運営推進会議を開催しているが行政職員(地域包括支援センター)の参加が年に1回程度の参加状況となっていて意見を把握しにくい状況がある	○行政職員(地域包括支援センター)の意見や助言を活かした運営推進会議を目指す	1、地域包括支援センター職員の積極的な参加への働きかけを行う。 2、参加が難しければ会議内容資料を事前に渡し意見を徴集していく。	3ヶ月
2	23	○利用者の思いや意向の把握 自己主張が難しい方への適切な対応や満足な対応を行う事が現状として難しい状況がある。	○利用者が発しているサインを見逃さず満足出来る対応及び生活が送ることが出来る。 ○職員スキル向上を目指して行く	1、記録を重要視し、日頃との違い(表情や態度等)を見つける・気づけるケア姿勢を確立し、言動以外での要求や要望に対応していく。(記録様式を変更、生活状況全般を把握できる様式を使用し、その記録・情報を基にモニタリングし適切な対応及び統一したケアを目指す) 2、内部研修の実施 職員スキル向上を目指し、サービスの情報公表の研修項目を参考に年間計画を作成し職員が主体(講師)となり実施していく。	6ヶ月
3	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 看取りの方針が、現状として定まっていない ・利用者及び家族の現段階の看取り方針を把握する必要がある ・協力医療機関の協力要請	○看取り方針を利用者及び家族、協力医療機関と検討し当事業所としての看取り方針を策定する	1、先日の家族会で報告したが、現段階での看取り方針を把握して行く。 (家族の協力が不可欠である事を前提に方針を策定していく) 2、協力医療機関(主治医)へ協力要請を行う (どの程度の、医療的サポートが可能か等)	12ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。